

□ 要請番号 (JL61823A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2024/1・2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

国民教育省

2) 配属機関名（日本語）

ファラチウ郡学区事務所

3) 任地（ヴァキナンカラチャ県ファラチウ郡ファラチウ市） JICA事務所の所在地（アンタナナリボ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約5.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国民教育省の出先機関であり、ヴァキナンカラチャ県教育事務所(DREN)のもと、郡内の教育行政を統括する学区事務所(CISCO)である。総務、プログラム担当、基礎教育、幼児教育、ノンフォーマル教育課等の部署があり、郡内の小学校171校、中学校18校、高校9校と私立校を管轄している。同県は、JICA技術協力プロジェクト「みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト」の対象地域となっているが、JICA海外協力隊の派遣は初となる。同任地にはコミュニティ開発隊員も派遣予定である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

国民教育省は教育分野の開発計画(PSE 2018-2022)に沿って、アクセスの向上、教育の質の改善、ガバナンス強化を柱に政策を進めたが、初等教育の純就学率は約9割あるものの都市部と農村部の格差が大きく、修了率は約6割とまだ課題が多い。また、教育の質に関し、設備や教科書の不足も顕著であるが、コミュニティが雇用する、教員養成課程を経ていない無資格のコミュニティ教員(FRAM教員)が6割以上を占めており、教員の質の改善も課題の一つである。これらの課題に対し、教育現場で現地の教員と協働しつつ、教員の質の向上に貢献できる小学校教育隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

現地の小学校等を公共交通機関や自転車を使って巡回し、自身の得意なものを活かしながら、以下に挙げるような活動を行う。

- 現地教員と協力して算数、図工、理科、体育等の教科の指導支援を実施する(配属先からは算数の要望有。高学年でも足し算を指や定規の目盛りを使って数えるような状況)。
- 児童の学習を効果的に進めるためのアイデアやアクティビティ、補助教材開発の支援を行う。
- 上記活動を通じて事例を共有するための授業研究やワークショップの実施支援を行う。
- 状況に応じて、手洗いなどの保健衛生等のアクティビティも可能。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

隊員や技術協力プロジェクトで作成された手洗い、栄養啓発教材、紙芝居等。授業実施に関しては基本的に任地にあるものを工夫して使用する。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

学区事務所長(40代男性)、指導主事(40代男性)、プログラムの担当、各課の職員、秘書等の常勤職員(10-15名程度)

活動対象者:対象となる各学校長、教員、児童(1クラス
20～50人超)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 2年以上 備考：教員に助言するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(1～30℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

【特記事項】

- ・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。